

平成20年度第1回科学計測専門部会 議事録(案)

日時:平成20年7月3日(木) 10:30~17:10

場所:JAMSTEC東京事務所 セミナー室A・B

出席者:

専門部会長:斎藤実篤(JAMSTEC・IFREE)

委員:石橋純一郎(九州大・理) 岩井雅夫(高知大・理;古生物部会共同WG長) 岡田 誠(茨城大・理)

小田啓邦(産総研) 廣瀬丈洋(JAMSTEC・高知コア研) 山中寿朗(岡山大)

STP委員:池原 実(高知大・海洋コアセンター;IODP部会・執行部会担当) 成瀬元(千葉大・理)

布浦拓郎(JAMSTEC・IFREE), 林 為人(JAMSTEC・高知コア研;非破壊計測部会共同WG長)

孔内計測共同WG長:中村恭之(東大・海洋研)

IO(JAMSTEC/CDEX):伊藤久男 江口暢久 Moe Kyaw Thu

オブザーバー:倉元敏克(MWJ) 村木広明(MWJ)

事務局:加賀谷一茶

欠席者:

委員:石塚 治(産総研) 木村浩之(静岡大) 坂井三郎(JAMSTEC・IFREE)

諸野祐樹(JAMSTEC・高知コア研)

議事次第

1. 開会の辞(出席者紹介, 書記指名) [斎藤部会長]

2. 配布資料確認・議事次第確認 [斎藤部会長/事務局]

[報告事項]

3. 前回議事録確認 [斎藤部会長/事務局]

4. IODP/J-DESC 報告 [事務局/執行部]

5. CDEX 報告 [CDEX]

6. 技術開発推進専門部会報告 [斎藤部会長/事務局]

7. WG 報告

・孔内計測 WG [共同 WG 長]

・非破壊計測 WG [共同 WG 長]

・古生物 WG [共同 WG 長]

[検討事項]

8. 前回専門部会実行項目レビュー [斎藤部会長]

9. 次回 7th STP(080728-30:Edmonton) 事前打ち合わせ

(1)Microbiology 関連

(2)Core-log-seismic integration 関連 [CDEX]

(3)Scientific Technology Roadmap について

(4)その他

10. 停泊中の「ちきゅう」の活用について [CDEX]

11. IODP 国際パネルマニュアルについて [斎藤部会長/事務局]

12. STP・専門部会委員のローテーションについて [斎藤部会長]

13. 検討事項のまとめ

14. 次回開催日程について

検討事項のまとめ

合意事項 0807-01：技術開発推進専門部会との連携

科学計測専門部会と技術開発専門部会との連携を強化する。特に Technology Roadmap と Scientific Roadmap を両専門部会で相互レビューし、共同で検討する項目を抽出する。

合意事項 0807-02：科学支援員の育成

MWJ が分析・計測機器類の情報収集のため大学・研究機関等とコンタクトする際に、必要に応じて専門部会が仲介する。機器運用と科学支援員の育成に関する懇談会またはワークショップの開催の可能性を今後検討する。

実行項目 0807-03：孔内計測 WG のタスク

「ライザー掘削航海に乗船する堆積学・古生物学研究者等を対象とした、カッティングスを用いた研究のトレーニング」を孔内計測 WG のタスクとして定めた。

実行者：孔内計測 WG

実行項目 0807-04：ちきゅう用図書

購入希望図書を3段階の優先順位をつけてとりまとめ、CDEX へフィードバックする。

実行者：専門部会委員

期限：7/22 までに各分野から齋藤へ提出。8 月初旬までに CDEX へ提出。

実行項目 0807-05：ガスモニタリング

溶存ガスモニタリングに関する科学ニーズを、KTB、SAFOD 等の実績と併せて整理し、STP で提言する。

実行者：孔内計測 WG、布浦・齋藤 STP 委員

期限：次回 STP

実行項目 0807-06：バイオアーカイブ

微生物用試料のサンプリングと冷凍保存に関する KCC の提言文書に関し、専門部会の検討結果を KCC に回答する。

実行者：齋藤

期限：7 月初旬

実行項目 0807-07：コンタミネーションチェック

ちきゅうのライザー掘削で利用できる泥水の種類、および含まれるイオンの種類をリストアップする。

実行者：CDEX

期限：次回専門部会

実行項目 0807-08：Scientific Technology Roadmap

専門部会での検討結果をふまえ、Scientific Technology Roadmap に盛り込むべき項目を各分野でとりまとめ、STP 担当者へ提出する。

実行者：STP 委員、専門部会委員

期限：7 月 10 日

実行項目 0807-09：IODP 国際パネルマニュアル

STP 委員パネルマニュアル STP 版のドラフトを作成し、次回専門部会でレビューする。

実行者：STP 委員

期限：次回専門部会

【委員のローテーション】

合意事項 0803-8：委員の選任、退任、推薦等

今回合意した以下の委員の選任、退任、推薦について執行部へ報告する。

○ 平成 20 年度第 1 回専門部会（今回）で齋藤専門部会長が退任した。

- 次期専門部会長として石橋専門部会委員を指名した。8月1日委嘱予定。
- 横浜国立大の河潟俊吾氏を古生物分野の新専門部会委員として推薦した。

【謝辞】

合意事項 0807-11：齋藤専門部会長

今回で退任する齋藤専門部会長の、これまでの部会に対する多大な貢献に対して、専門部会一同謝意を表す。特に、膨大な数に上る科学計測専門部会のタスクの処理に対する適切な指示や、効率のよい議事進行をしてこられたこと等、齋藤専門部会長の功績は大きい。今後は、STP委員として、さらにSTP副議長として、さらなる活躍をお願いしたい。

議事:

1. 開会の辞(出席者紹介、書記指名:岩井)[専門部会長]
- 2a. 配布資料確認 [専門部会長/事務局]
追加資料1. 原位置における岩石・岩盤強度の決定について
追加資料2. Exp315 onboard scientist (Jonathan Lewis)の要望
- 2b. 議事次第確認 [専門部会長] 変更なし

【報告事項】

3. 前回議事録確認 [専門部会長]
前回議事録(資料1)が確認され承認された。
4. IODP/J-DESC報告 [事務局/執行部]
資料2にもとづき、池原執行部員により説明がなされた。アフタークルーズワーク(ACW)の開始時期・日程調整について質問があり、ACW事務局が対応するむね回答された。またスタッフイング完了した航海の乗船研究者への各種情報提供(航海前後の支援、航海中の注意など)について質疑応答があった。
5. CDEX報告 [CDEX]
CDEX江口氏より説明がなされた。「ちきゅう」はスラストギアトラブルから補修中(佐世保沖)。2009年3月～8月の予定でIODP Expeditionsを行う予定。最初のExpeditionは熊野海盆ライザー掘削の予定。
6. 技術開発専門部会報告 [専門部会長]
資料4-1～4-4に基づき、CDEX伊藤氏(EDPリエゾン、技術開発推進専門部会リエゾン)より説明がなされた。日本から2件、米国から1件のEDP関連予算のプロポーザルがなされている現状。
「技術開発部会議事録に“科学計測部会との連携強化”とある件について、具体的には？」
「技術開発に際し科学的ニーズのランク付けがEDP・技術開発部会では困難。STP・科学計測部会にアドバイスをもらいたい」「EDP、STPの提案について相互レビューをしてはどうか?」「優先順位はSPCの仕事」と質疑応答がなされた。
7. WG報告
(2)非破壊計測WG [共同WG長]
林共同WG長より、メールベースで、ロードマップ対応や、船上図書選書等について議論があったこと報告された。クックブック改訂版のレビューが今後あるので、任期延長もありえる(部会長)。会合を開く必要がなければWGを残す必要はかならずしもなく、計測部会委員として対応可能。
(3)古生物WG [共同WG長]
岩井共同WG長より、非破壊計測WG同様の活動である点を簡単に報告。Paleontology Coordination Groupの活動状況について質問があり、現在予算獲得にむけた準備がなされている旨報告された。

(昼食:12:00～13:00)

- 追加配布資料確認 [事務局]
- ・資料5. 孔内計測WG報告
 - ・追加資料3. 堆積分野提言－Scientific Technology Roadmap
 - ・追加資料4. コアオリエンテーションについて－Scientific Technology Roadmap

7. WG報告

- (1)孔内計測WG [共同WG長]
資料5にもとづき中村共同WG長より説明がなされた。
カッピングスの利用促進に、WGが率先しとりくむことについて歓迎する旨、部会長より発言があった。

【検討事項】

8. 前回専門部会実行項目レビュー[部会長]
資料1の実行項目一覧にもとづき、以下項目について議論を行った。
実行項目0803-04:コンタミネーションチェック
EDPの反応待ち。孔内計測WGでは、現状紹介のみで継続検討。泥水の調整は不可能との予想。
実行項目0803-05:ガスモニタリングの運用方針 実行項目0803-07:ガスモニタリングのレビュー
孔内計測WGと連携し運用方針策定を進める(CDEX)。科学的ニーズを裏付ける文献収集活動(孔内WG)

にもとづき、国内のコンセンサス(モニタリングの科学的ニーズ)をSTPでプレゼンテーションする方針(部会長)。STP前に、孔内計測WG長一部会長、布浦STP委員で連絡をとる。

実行項目0803-06:購入予定文献リスト

古地磁気分野:現在あるのは3冊。古地磁気に関する教科書的基本図書、データハンドリングに関するテキストなど。

古生物分野:古生物分野の文献やデータベースは、機器の標準試料的性格を有し重要。多彩な文献収集体制が請願された。研究者から寄付された別刷りはCDEXで受入、リストを作成し、保管することが約束された。

その他:地球物理関係、岩石記載に必要な書籍のリクエストがあった。

今年度は9月に発注。7月22日までに、エクセルファイルとして部会長にリストを提出。部会長からCDEXに提出されることとなった。

実行項目0803-08:古生物分野乗船研究者用マニュアル

今年度中に開始できるよう、秋に古生物WGを開催したい。

実行項目0803-09:科学支援員の育成

資料8にもとづき、MWJ倉本氏より説明がなされた。部会としては全面的に支援する。問合せは部会長に。ワークショップや技術講習会の可能性については今後協議。

9. 次回7th STP(080728-30:Edmonton)事前打ち合わせ

資料11にもとづき次回STPの議事次第が紹介された後、下記項目について議論がなされた。

(1)Microbiology関連 [布浦委員ほか]

資料12に示された高知コアセンター(KCC)のbio-archive core sampling and storageに関する提案について議論がなされた。KCC独自の提案のようであるが、KCCとCDEXの所掌分担が不明瞭なためにこの提案はSTPで混乱を招きかねない、との指摘があった。これについてはCDEXからKCCのこの活動はCDEXとは関連していないという回答があった。IOとしてのKCCからのプロポーザルなのか、KCCの研究者からのプロポーザルなのかを明確にし、STPで混乱が発生しないよう要望された。Storage能力やsampling device等に関する記述を強調し、Onboard routine sampling指針に関する記述は最小限にとどめるかTask forceからの提案とした方が良く、との意見があった。この提案に対する専門部会のコメントを近日中にKCCに送付することとした。

(休憩:14:55-15:10)

(2)Core-log-seismic integration関連 [CDEX]

STP仙台会議で、CDEXに対する質問項目。JAMSTEC Moe氏より現在の対応状況が報告された。

(3)Scientific Technology Roadmapについて

Petrophysics関連項目:

古地磁気分野:追加資料4にもとづき、コアオリエンテーションに関するニーズや技術開発について説明がなされた(小田委員)。

岩石物性分野:追加資料1に基づき、説明がなされた(林委員)。ベンセン断試験、ペネトロメータの導入が有効との認識のもと、STPに提案することとなった。

Core Description関連項目:

堆積分野:追加資料3に基づき、7件の提案について説明がなされた(成瀬委員)。次世代型粒子・粒度分析器について期待がよせられた。

古生物分野:3件の要望があった旨紹介され(オリジナルプロポーザルはメールで転送済み)、そのニーズや開発状況について説明された。「ちきゅう」では凍結乾燥機が2台搭載されており、利用可能。大容量の処理が必要か否かは、サンプリング戦略とともに検討する必要あり。現在のCTスキャナ分解能は、堆積学・構造地質学分野でも物足りなく感じられている、などのコメントがよせられた。

地球化学分野:追加資料5に基づき、池原委員より説明がなされた。

以上STPで提案するものについては、STP担当者に7月9日までに英文資料を提出することとなった。

(4)その他

追加資料2に基づき、ディスカッション顕微鏡について林委員より説明された。平常の船上機器管理の中で検討してもらうこととなった。

10. 停泊中の「ちきゅう」の活用について [CDEX]

アウトリーチ活動、コラスクール活動(20人程度)の企画について検討されている旨紹介された。また、実施に際しては協力をお願いしたいこと、その他活用法があれば提案してほしいこと、部会に要請があった。ポストクルーズリサーチ等に対しては個別に検討。

11. IODP国際パネルマニュアルについて [専門部会長/事務局]

パネルごとに経験者から情報収集し、新委員・候補者への情報提供を行う準備をすすめる。

12. STP・専門部会委員のローテーションについて [専門部会長]

微古生物・古海洋学分野委員に、河湊氏(横浜国立大学)が古生物WGより推薦され、承認された。

13. 検討事項のまとめ

今回の専門部会で検討した事項を確認した。(本議事録冒頭に記述)

14. 次回開催日程について[石橋次期専門部会長]

9月第2週を軸に調整を開始することとなった。有力な候補日は9月8日。

【配付資料 [作成担当者]

資料1 前回議事録 [事務局]

資料2 IODP/J-DESC報告 [事務局/執行部]

~~資料3 CDEX報告 [CDEX](欠番)~~

資料4-1 技術開発専門部会報告 [事務局]

資料4-2 EDP Technology Roadmap

資料4-3 EDP Technology Roadmap ver.3DRAFT

資料4-4 EDプロポーザルプロセス

資料5 孔内計測WG報告 [共同WG長]

~~資料6 非破壊計測WG報告 [共同WG長](欠番)~~

資料7 古生物関連推薦図書 [共同WG長]

資料8 科学支援員トレーニングを要する機器リスト

資料9 6th STP Executive Summary [事務局]

資料10 第6回STP会議報告書 [事務局]

資料11 7th STP Draft Agenda

資料12 Proposal for Bio-archive Core Sampling and Storage

~~資料13 Core-log-coismic integrationの現状 [CDEX](欠番)~~

資料14 Scientific Technology Roadmap [専門部会長]

資料15 専門部会・STP国内体制 [斎藤部会長](欠番)

資料16 STPメンバーローテーション表 [事務局]

追加資料1. 原位置における岩石・岩盤強度の決定について

追加資料2. Exp315 onboard scientist (Jonathan Lewis)の要望

追加資料3. 堆積分野提案-Scientific Technology Roadmap

追加資料4. コアオリエンテーションについて-Scientific Technology Roadmap

追加資料6. 間隙水の新規酸素・水素同位体比測定システムについて(午後配布)